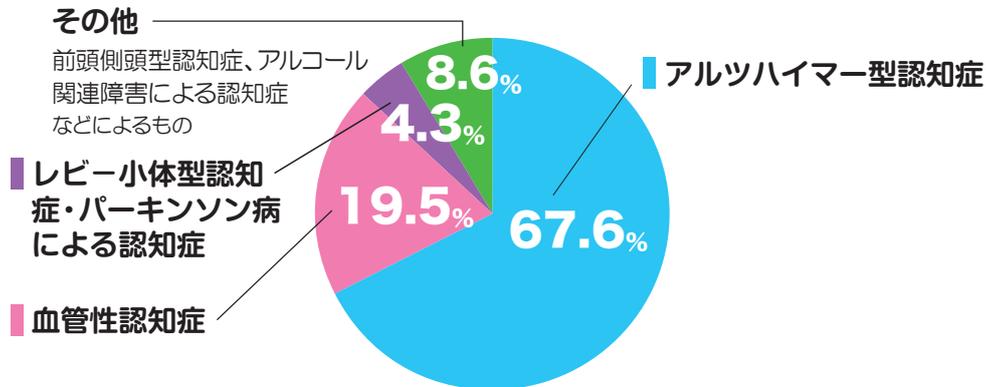


## ●認知症には原因となる病気があります

### 認知症の原因となる疾患の内訳

認知症の原因となる疾患の内訳には、主に「アルツハイマー型認知症」、「血管性認知症」、「レビー小体型認知症・パーキンソン病による認知症」の3つがあり、もっとも多いのがアルツハイマー型認知症です。



厚生労働科学研究「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」  
(平成23年度～平成24年度 総合研究報告書 研究代表者 朝日 隆)を加工して作成

出典：東京都福祉局高齢者施策推進部在宅支援課認知症支援担当「知って安心認知症」(令和6年3月発行)より

## ●認知症の症状は原因となる病気によっても異なり、人によって感じ方も異なります

多くの方は、早い時期からなんとなく自覚症状があり、なんとか適応しようと、不安や混乱から感情的になったり、気分が沈むこともあります。ときにうつ病を発病することもあります。



### 記憶障害



記憶があやふやになる  
「そんな約束したかな？」  
「探しものが増えてきた」

### 見当識障害

自分の状況がわからなくなる  
「今日は何日？ここはどこ？」  
「横にいるこの人は、どなた？」



### 実行機能障害

計画・実行するのが難しくなる  
「料理が上手にできなくなった」  
「書類の整理が苦手になった」

### 失語・失行・失認

「うまく言葉で表せない」  
「いつも使っている道具の  
使い方がわからない」  
「近所で道に迷う」